

CL-6-Ⅲ-06	<b>救命救急学</b>	第6学年	前期 選択	0.5単位
<b>担当者</b>	武田 聡・大瀧 佑平			
<b>一般目標 (GIO)</b>	救命処置に対する正しい知識を身につけ、CPRとAED使用を体験する。			
<b>到達目標 (SBOs)</b>	1)救命救急の現状を知る。 2)救命処置の基本を知る。 3)CPRとAED使用を学ぶ。			
<b>受講心得・ 準備学習等</b>	講義および演習のすべてに積極的に参加すること。			
<b>事後学習・ 復習等</b>	実習終了1か月後に、講習日と同様のアンケートを実施予定。			
<b>オフィスアワー</b>	授業終了後に個別の質問を受け付けるが、その他質問がある場合は、教務部を經由してメール等で質問を受け付ける。			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義および講習と演習	
回	項目	内容	担当者
1	救命救急とは①	救命救急システム/外因性救急	大瀧
2	救命救急とは②	内因性救急(救急薬剤・中毒・消化器系)	大瀧
3	救命救急とは③	内因性救急(心臓、脳・循環器系)	大瀧
4	救命救急講習および演習	救命処置が必要と思われる状況に遭遇した場合の対応と、CPRとAED使用についての講習および演習	武田
5			
6			

<b>成績評価の方法</b>	演習終了後にレポートを課し、評価する。
<b>成績評価の基準</b>	事前講義に臨む姿勢(20%)および講習と演習における達成度等(80%)を総合的に判定する。
<b>教科書</b>	必要に応じてプリントを配付する。
<b>参考書など</b>	